

ダイヤコリド名店街 SDGs 商店街推進宣言書

私どもダイヤコリド名店街（常盤通り名店街協同組合）は、終戦間もない昭和 23 年に結成された常磐町名店会を起源とし、以来 70 年以上、来街される方々に安心してご利用いただける、そして、困ったときには駆け込める・・・そんな『親しみやすく頼もしい商店街』を目指してきました。

令和の時代に入り、誰もが新たな気持ちで第一歩を踏み出そうとしていた矢先の新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、社会経済全体の価値観などを一変させ、世界中の多くの方々が「新たな日常」あるいは「新たな生活様式」への対応が迫られる一方で、改めて地元商店街の魅力や存在意義がクローズアップされつつあり、商店街活動に対する期待感が日に日に高まってきています。

こうした中、令和 2 年度秋には、山梨学院大学の学生さんによる商店街のブランディング化に向けたフィールドワークの実施、更には、令和 3 年度事業として、甲府市から、アフターコロナを見据えた商店街活性化に係る商学官連携モデル商店街の指定をいただいたところであり、これらをきっかけとする中で、「今この時、県都甲府の

中心商店街で事業を営む私たちがすべきことは何か？」組合員全員で、これまで侃々諤々の話し合いをしてきました。

その過程において、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標」・・・いわゆるSDGsを推進することが、今後、私たちが進むべき一つの方角であると認識するとともに、その活動に共感し、できるところから取組む意識の醸成が組合員相互間で図られましたことから、ここに「ダイヤコリド名店街SDGs商店街」を宣言いたします。

今後におきましては、商店街として、また、商店主として、私どもが目指す将来像である『親しみやすく頼もしい商店街』の実現に向け、また、SDGs理念に沿った様々な活動が、本市中心商店街全体へと波及する・・・その先駆けとなるよう、地道に取組んでまいりますので、より一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

令和3年8月17日

ダイヤコリド名店街

理事長 輿石 敬夫